

## ウォーキング

フォーラムのテーマ「新河岸川から狭山丘陵をを考えてみよう～～～」にも記載のある狭山丘陵は、新河岸川の支川の内、不老川・砂川・柳瀬川の源流域となっています。

フォーラムの参加者には、この狭山丘陵を歩いていただくことで、新河岸川支川の源流域について実体験していただきました。「百聞は一見にしかず」ですね！

日時:8/27(土)10:00～13:20

天候:晴れ時々曇り

参加:Aグループ 12名

Bグループ 37名

### <Aグループ>

コースタイム:会場(出発)10:00～比良の丘10:36～B地区湿地～12:10～会場(戻り)12:40



砂川源流部の様子  
数日前に降った雨もあって滞筋が確認できました。



アーチカルバート橋脚  
湿地が分断されないようにと導入された道路橋脚です。



B地区湿地内  
大堀先生に続き、草をかき分け進みます。



B地区湿地の北縁  
数日前の雨もあって湿地らしい景観が望めました。

## <Bグループ>

コースタイム:会場10:00(出発)～比良の丘10:15～八幡湿地10:30～さいたま緑の森博物館10:38・11:45  
～B地区湿地12:40～会場(戻り)13:10



大谷戸湿地  
湿地保全型の源流部について学びました。



八幡湿地  
田園保全型の源流部について学びました。



比良の丘  
眺めも良くて気持ちのいい場所でした。



B地区湿地内  
一列になって砂川にかかった板の橋を渡ります。